

第114期 中間報告書

[平成25年4月1日～平成25年9月30日]

Chemical Products

Construction Materials

Building & Housing Materials

Electronics

アイカ工業株式会社

証券コード 4206



CONTENTS

■ 株主の皆様へ	2
■ セグメント別のご案内	3
■ 財務情報	5
連結決算 連結貸借対照表／連結損益計算書 連結キャッシュ・フロー計算書	
■ 企業活動のご案内	7
■ 会社の概要	8
■ 株式の状況	9
■ 株主メモ	10

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社グループ第114期第2四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至 平成25年9月30日）の営業の概況をご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緊急経済対策による公共投資の増加などに加え、金融緩和を受けた円安・株高の進行を下支えとして、個人消費の復調や企業業績の回復、雇用環境の改善や設備投資の持ち直しなど、自律的回復に向けた動きが見られました。

国内建築市場におきましては、景況感の改善に加え、住宅ローン金利や資材価格の先高感や、平成26年4月の消費増税を見据えた駆け込み需要などが個人の住宅取得を後押しするなど、住宅関連は好調に推移いたしました。また、非住宅関連につきましても、教育施設、医療・介護施設などを中心に堅調に推移いたしました。

このような経営環境の下、当社グループは、顧客に密着した営業活動の強化、市場ニーズにマッチした新商品開発と機能材料事業の強化などを推進いたしました。また、当社が平成24年12月に株式を取得いたしました、アイカ・アジア・パシフィック・ホールディング社およびその子会社の業績が、第1四半期連結累計期間より組み入れられ、連結業績に大きく寄与いたしました。

このような結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高66,398百万円（前年同四半期比39.0%増）、営業利

益6,502百万円（前年同四半期比20.5%増）、経常利益6,691百万円（前年同四半期比22.4%増）、四半期純利益3,645百万円（前年同四半期比17.1%増）となりました。

なお、当期の中間配当金につきましては1株につき19円とさせていただきます。

今後の景気動向につきましては、各種経済効果などを背景に所得環境の改善や投資の増加傾向が続き、景気回復の動きが確かになることが期待されますが、海外では、米国の量的緩和の縮小観測、中国をはじめとした新興国の景気減速懸念、回復が遅れている欧州経済など、景気の下振れリスクが残っています。

当社グループは、このような経営環境を十分認識し、リフォーム・改修を含めた国内需要の取り込みと顧客基盤拡大によるシェアアップ、海外事業と機能材料事業の強化による更なる成長の実現、顧客ニーズにマッチしたスピード感ある新商品開発、ならびにアイカ・アジア・パシフィック・ホールディング社およびその子会社とのシナジーの発現を図り、持続的に事業を拡大しうる体制を構築してまいります。

当社グループは、コンプライアンス（法令遵守）とCSR（企業の社会的責任）を重点方針に掲げ、社会から一層信頼される企業を目指し邁進してまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年12月



代表取締役会長

渡辺 修



代表取締役社長

小野 勇治

セグメント別のご案内

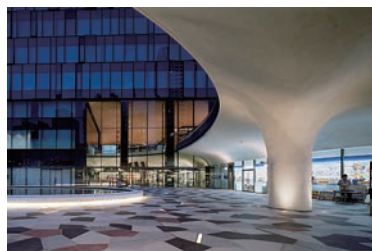
化成品セグメント

接着剤系商品は、木工・家具向け汎用接着剤が低迷したものの、合板用接着剤や産業用アクリル樹脂系接着剤、ならびに新規分野として取り組んでいる太陽電池向け接着剤、自動車向け接着剤が順調に推移いたしました。一方、海外では、アイカ・アジア・パシフィック・ホールディング社の子会社が、アジア太平洋地域における接着剤・産業用樹脂の需要を取り込むことができた結果、売上を伸ばすことができ、連結業績に大きく寄与いたしました。

樹脂系商品は、外装・内装仕上塗材「ジョリパット」や橋梁などの補修・補強材「ダイナミックレジン」が、戸建市場の活況と大手住宅メーカーでの採用増加、および改修市場への積極的な展開などにより、売上を伸ばすことができました。

有機微粒子は、塗料用途を中心に、売上を伸ばすことができました。

このような結果、売上高は32,577百万円(前年同四半期比100.5%増)、営業利益(配賦不能営業費用控除前)1,924百万円(前年同四半期比74.7%増)となりました。



ジョリパット (外装・内装仕上塗材)

物件名: 新宿イーストサイドスクエア

設計: 株式会社三菱地所設計

渡邊顕彦、松井章一郎、石附聡、佐藤琢也、姉齒景介、藤貴彰

撮影: 小川泰祐



環境配慮型接着剤
Fフォースター(F☆☆☆☆)対応
アイカエコエコボンド

建築材セグメント

建築材セグメントの主力市場である非住宅市場は、建設現場での工事遅れなどの影響で、大型商業施設や医療施設などの動きは鈍かったものの、教育施設の改修用途に注力した結果、売上高は堅調に推移いたしました。

高い意匠性と指紋などの汚れが目立ちにくい特性を持つメラミン化粧板「セルサス」、耐摩耗性・耐汚染性に優れる化粧ボード「マーレスボード」、0.7mmという薄さで不燃性を兼ね備えた薄物メラミン不燃化粧板「アイカフレアテクト」など、特徴のある商品は、デザイン性の追求、コストと機能の両立、安心・安全などのニーズを背景に売上を伸ばすことができました。

このような結果、売上高は13,987百万円(前年同四半期比5.0%増)、営業利益(配賦不能営業費用控除前)2,657百万円(前年同四半期比4.0%増)となりました。



CELUS (セルサス) メラミン化粧板

物件名: CIAL 鶴見

設計事務所: 株式会社ジェイアール
東日本建築設計事務所



CELUS (セルサス)

物件名: nana's green tea アリオ倉敷店

設計: 株式会社KAMITOPEN一級建築士事務所
吉田昌弘、幡中仁、津泰理世

撮影: 宮本啓介

住器建材セグメント

不燃化粧材「セラール」は、住宅市場では、新築のほか、リフォームにおいてもキッチン・洗面などの水回り空間での採用を増やすことができました。非住宅市場では、教育施設、医療・介護施設などにおいて、改修用途も含めた幅広い需要をとらえ、順調に売上を伸ばすことができました。

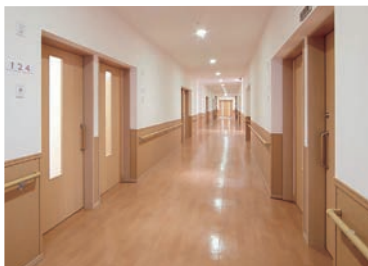
メラミン化粧板を曲面加工したポストフォーム商品は、住宅およびマンションのキッチン扉や、店舗、医療・介護施設用什器を中心に好調に推移し、天然水晶を原材料にした高級人造石カウンター「フィオレストーン」は、豊富なデザインや優れた機能が評価され、集合住宅のキッチンカウンターを中心に採用が増えました。また、医療・介護施設、高齢者住宅に適した機能引戸「UD(ユニバーサルデザイン)コンフォートシリーズ」は、サービス付高齢者向け住宅の着工増と個人クリニックでの採用増により、売上を伸ばすことができました。

このような結果、売上高は17,096百万円(前年同四半期比10.3%増)、営業利益(配賦不能営業費用控除前)2,755百万円(前年同四半期比7.9%増)となりました。



Fiore Stone
(フィオレストーン)

物件名：キッチンハウス 福岡店



**UD(ユニバーサルデザイン)
コンフォートシリーズ**

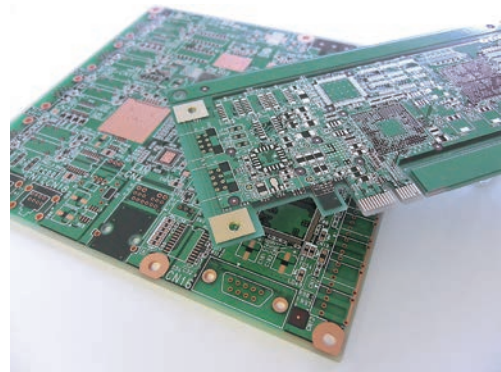
物件名：社会福祉法人筑陽会赤坂園
設計事務所：アルファ建築設計事務所
施工：株式会社熊谷組

電子セグメント

プリント配線板は、開発案件の減少によりパターン設計が減少いたしました。半導体関連・工作機械などの分野で回復基調にあり、堅調に推移いたしました。

電子材料は、光学フィルム向けUV(紫外線)硬化型ハードコート樹脂「アイカイトロン」がタッチパネル市場の拡大とともに売上を伸ばすことができましたが、ハードコートフィルム「ルミアート」が減少し、前年を下回る結果となりました。

このような結果、売上高は2,736百万円(前年同四半期比1.1%増)、営業利益(配賦不能営業費用控除前)344百万円(前年同四半期比24.8%増)となりました。



アイカ7.プリント配線板
(高速信号伝送基板)

連結決算

● 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期 (平成25年9月30日現在)	前 期 (平成25年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	75,923	74,573
現金および預金	22,071	18,981
受取手形および売掛金	40,090	42,936
たな卸資産	9,908	9,403
その他	4,043	3,436
貸倒引当金	△190	△184
固定資産	46,242	44,728
有形固定資産	26,680	25,987
無形固定資産	7,496	7,565
投資その他の資産	12,065	11,175
その他	12,335	11,649
貸倒引当金	△270	△474
資産合計	122,166	119,301

科 目	当第2四半期 (平成25年9月30日現在)	前 期 (平成25年3月31日現在)
負債の部		
流動負債	28,724	31,880
支払手形および買掛金	19,917	22,074
短期借入金	1,054	858
未払法人税等	2,265	2,907
賞与引当金	1,342	1,524
その他	4,143	4,515
固定負債	3,523	2,415
長期借入金	892	422
退職給付引当金	519	403
その他	2,111	1,588
負債合計	32,248	34,295
純資産の部		
株主資本	83,205	80,746
資本金	9,891	9,891
資本剰余金	13,269	13,269
利益剰余金	62,429	60,023
自己株式	△2,384	△2,437
その他の包括利益累計額	3,462	1,103
その他有価証券評価差額金	2,030	1,420
繰延ヘッジ損益	△7	△4
為替換算調整勘定	1,439	△311
新株予約権	77	47
少数株主持分	3,172	3,108
純資産合計	89,917	85,006
負債純資産合計	122,166	119,301

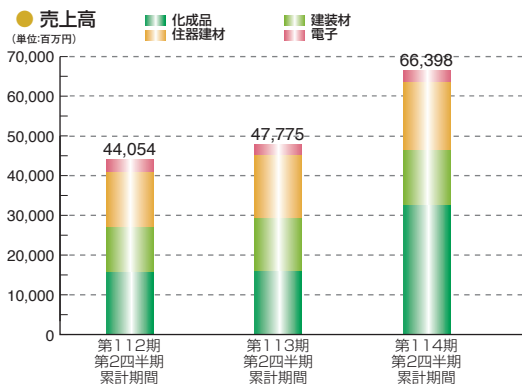
◎記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

● 連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期 累計期間 (平成25年4月1日～ 平成25年9月30日)	前第2四半期 累計期間 (平成24年4月1日～ 平成24年9月30日)
売上高	66,398	47,775
売上原価	48,417	34,104
売上総利益	17,980	13,671
販売費および一般管理費	11,478	8,276
営業利益	6,502	5,394
営業外収益	445	288
営業外費用	256	214
経常利益	6,691	5,467
特別損失	—	248
税金等調整前四半期純利益	6,691	5,219
法人税、住民税および事業税	2,434	1,784
法人税等調整額	244	238
少数株主損益調整前四半期純利益	4,012	3,196
少数株主利益	366	82
四半期純利益	3,645	3,114

◎記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

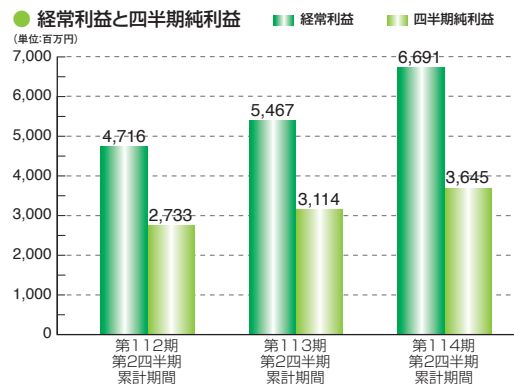


● 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期 累計期間 (平成25年4月1日～ 平成25年9月30日)	前第2四半期 累計期間 (平成24年4月1日～ 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,652	5,984
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,824	△1,833
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,098	△1,125
現金および現金同等物に係る換算差額	360	△8
現金および現金同等物の増減額	3,090	3,017
現金および現金同等物の期首残高	18,981	30,114
現金および現金同等物の四半期末残高	22,071	33,131

◎記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。



新中期経営計画『NEXT JUMP 1500』を発表

当社は、平成25年5月、新中期経営計画『NEXT JUMP 1500』を発表いたしました。

当社は平成28年10月に創立80周年を迎えます。新中期経営計画は、創立80周年に合わせ4カ年計画とし、最終年度の平成29年3月期の目標は、連結売上高1,500億円、連結経常利益170億円、海外売上比率30.0%としています。

■ 基本方針

1 改修、リフォーム、医療・介護施設などの成長分野への 取り組み強化と用途開拓による国内中核事業の持続的成長

国内事業においては、成長分野である改修、リフォーム、医療・介護施設などへの取り組みを強化してまいります。住宅・非住宅の新設需要の減少や消費増税後のリバウンドに備えるためにも、国内成長分野への取り組み強化は必須と考えております。ビル・学校等のリノベーションや社会インフラの老朽化対策としての補修補強、住宅リフォームや高齢化社会における医療・介護施設増への対応を強化してまいります。

2 海外事業・機能材料事業の展開加速を通じた事業構造の変革

国内の建築市場に依存しない事業の構築を目指してまいります。主な施策は、アイカ・アジア・パシフィック・ホールディング社およびその子会社(以下合わせて「AAP」といいます)とのシナジー効果の創出です。AAPは、アジア主要国に17の生産拠点と営業基盤を有して

います。これら拠点ネットワークに当社の技術・商品を導入するとともに、当社にはなかった工業用途や繊維板用途向けの接着剤や産業用樹脂を取り入れてまいります。

一方、機能材料事業は自動車用途やエレクトロニクス分野で、ニッチ市場のトップを目指してまいります。

3 生産・調達グローバル最適化と原価低減の推進

生産・調達ともグローバルでの全体最適をはかり、原材料高騰に耐えられる体制に強化してまいります。

4 事業環境の変化とグローバル化に即した組織運営と人材強化

平成25年4月に組織改編を実施いたしました。営業機能を一体化し、販売効率の向上を目指してまいります。また、グローバル企業を目指して、人材の育成や間接部門のグローバル化に着手いたします。

創立80周年に向けて4カ年計画の策定

NEXT JUMP 1500

■ 財務目標(連結)

項目	平成25年3月期(実績)	平成29年3月期(目標)
売上高	1,013億円	1,500億円
経常利益	126億円	170億円
ROE	9.7%	9.5%以上
海外売上比率	7.2%	30.0%

会社の概要

[平成25年9月30日現在]

プロフィール

- 社名 アイカ工業株式会社
- 本社 愛知県清須市西堀江2288番地
- 電話 052(409)8000(代表)
- 設立 昭和11年10月20日
- 資本金 98億9,170万円
- 事業所

[生産拠点] 本社工場(愛知県) 甚目寺工場(愛知県)

福島工場(福島県) 広島工場(広島県)

茨城工場(茨城県) 丹波工場(兵庫県)

[開発拠点] R&Dセンター甚目寺研究所(愛知県)

R&Dセンター茨城研究室(茨城県)

R&Dセンター丹波研究室(兵庫県)

[営業拠点] 札幌支店 仙台支店 盛岡支店

東京支社 埼玉支店 横浜支店

千葉支店 北関東支店 宇都宮営業所

新潟営業所 名古屋支店 静岡支店

金沢支店 大阪支店 神戸支店

京都営業所 広島支店 岡山営業所

四国支店 福岡支店 鹿児島支店

■主要製品

[化成品セグメント]

外装・内装仕上塗材、塗り床材、各種接着剤、有機微粒子、他

[建装材セグメント]

メラミン化粧板、化粧合板

[住器建材セグメント]

室内用ドア、インテリア建材、カウンター、収納扉、不燃化粧材

[電子セグメント]

プリント配線板、電子材料

■連結子会社

- [会社名] アイカインテリア工業株式会社(愛知県)
 アイカハリマ工業株式会社(兵庫県)
 アイカ電子株式会社(岐阜県)
 西東京ケミックス株式会社(東京都)
 アイカインドネシア社(インドネシア)
 テクノウッド社(インドネシア)
 昆山愛克樹脂有限公司(中国)
 瀋陽愛克浩博化工有限公司(中国)
 愛克樹脂貿易(上海)有限公司(中国)
 アイカ・ラミネーツ・インディア社(インド)
 アイカベトナム社(ベトナム)
 アイカ・アジア・パシフィック・ホールディング社(シンガポール)

取締役・監査役および執行役員

[代表取締役会長] 渡辺 修

[代表取締役社長] 小野 勇治

[専務取締役] 伊東 善光

[常務取締役] 岩田 照徳

[常務取締役] 森 永博之

[取締役] 百々 聡

[取締役] 岩瀬 幸廣

[取締役] 大村 信幸

[常勤監査役] 野田 近

[常勤監査役] 佐治 一良

◎[監査役] 松浦 洋

◎[監査役] 加藤 正和

◎[監査役] 浦部 康資

[上席執行役員] 小瀬村 久

[上席執行役員] 岡田 賢児

[上席執行役員] 森 良二

[執行役員] 加藤 義昭

[執行役員] 堀田 益之

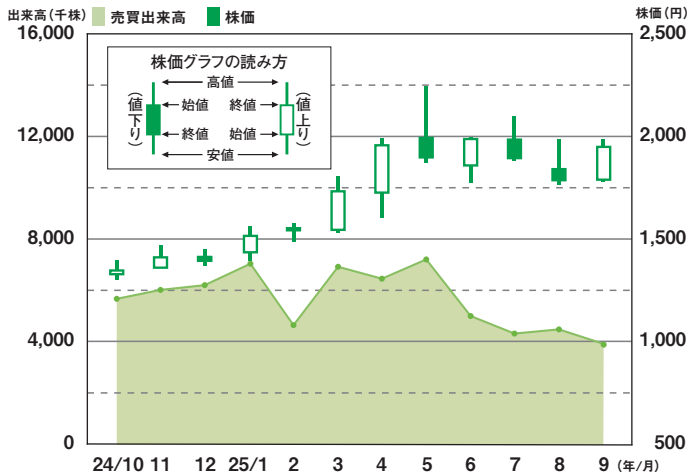
[執行役員] 村瀬 元康

[執行役員] Per Haga(ペア ハガ)

(注)◎印は、社外監査役であります。

●発行済株式の総数…67,590,664株

株価・売買出来高の推移(東京証券取引所)



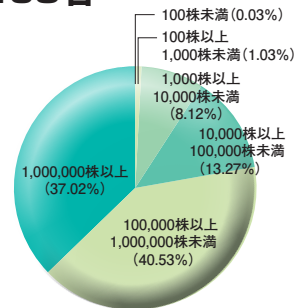
大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,668	5.62
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,550	5.44
ゴールドマン・サックス・アンド・カンパニーレギュラーアカウント	2,237	3.43
アイカ工業取引先持株会	1,916	2.94
アイカ工業株式保有会	1,738	2.66
ジェービー モルガン チェース バンク 385174	1,537	2.36
ノーザントラスト カンパニー(エイブイエフシー) サブアカウント プリティッシュクライアント	1,493	2.29
東京海上日動火災保険株式会社	1,397	2.14
住友生命保険相互会社	1,318	2.02
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,300	1.99

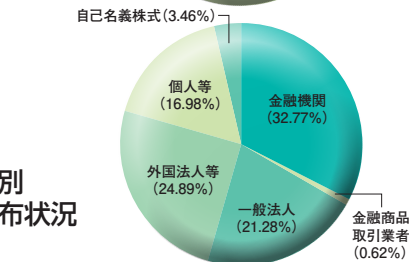
※当社は、自己株式2,340千株を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。持株比率は、自己株式2,340千株を控除して計算しております。

●株主数…6,465名

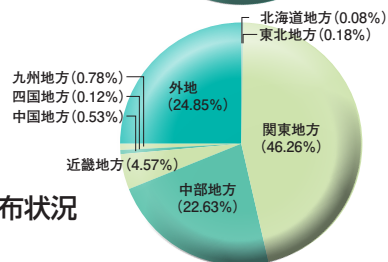
所有株数別 株式分布状況



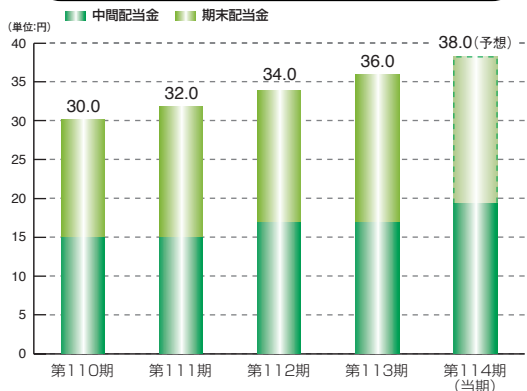
所有者別 株式分布状況



地域別 株式分布状況



配当金の推移



株主メモ

■事業年度	4月1日～翌年3月31日
■基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
■定時株主総会	毎年6月
■株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
■特別口座管理機関	
■同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711(通話料無料)
■上場証券取引所	東京・名古屋
■公告方法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 公告掲載URL http://www.aica.co.jp/

(ご注意)

- 1.株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2.特別口座に口座をお持ちの株主様の各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。

【株式に関するお手続きについて】

●特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
<ul style="list-style-type: none"> ●特別口座から一般口座への振替請求 ●単元未満株式の買取(買増)請求 ●住所・氏名等のご変更 ●特別口座の残高照会 ●配当金の受領方法の指定* 	特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711(通話料無料)
<ul style="list-style-type: none"> ●郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ●支払期間経過後の配当金に関するご照会 ●株式事務に関する一般的なお問合せ 	株主名簿管理人	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>[手続き書類のご請求方法]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●音声自動応答電話によるご請求 0120-244-479(通話料無料) ●インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufg.jp/daikou/ </div>

*特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

●証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
<ul style="list-style-type: none"> ●郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ●支払期間経過後の配当金に関するご照会 ●株式事務に関する一般的なお問合せ 	株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711(通話料無料)
●上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問合せください。	

住まい空間を演出する

AICA



地球温暖化防止活動の一環として、この印刷物を作成する際に排出されたCO₂は、カーボンフリーコンサルティング株式会社を通じ、国連で認証された排出権（CER：インド国 Himachal Pradesh 州 Mandi 地区の水力発電事業）によりカーボンオフセットされております。

